様式第 1-4（2021.6.30 版）　　単機関研究用

慢性閉塞性肺疾患（COPD）合併肺癌に対する肺切除に関する研究

１．研究の対象

2000 年 1 月～2021 年 12 月に慢性閉塞性肺疾患（COPD）合併肺癌に対して肺の手術を受けられた方

２．研究目的・方法

慢性閉塞性肺疾患（COPD）は、従来、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称で、タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露することで生じた肺の炎症性疾患です。慢性閉塞性肺疾患（COPD）を持った患者さんには肺癌ができやすく、またその治療成績は非合併例と比べて劣るとされています。肺癌に対して、臨床病期 I-IIIA 期の患者さんに対しては肺切除が行われます。慢性閉塞性肺疾患（COPD）と肺癌を同時に持った患者さんにはどのような手術を行うべきであるか、どのような患者さんの治療成績が悪いかなどの問題に関しての結論は出されていません。そこで大阪国際がんセンターでは、慢性閉塞性肺疾患（COPD）と肺癌を同時に持ち、肺の手術を受けられた患者さんの患者基本情報、原疾患、治療内容、再発の有無および生存状況を調査します。慢性閉塞性肺疾患（COPD）合併肺癌の患者さんにおける肺切除の治療効果や予後因子について検討するのが本研究の目的です。

３．研究に用いる試料・情報の種類

当院において 2000 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの間に慢性閉塞性肺疾患（COPD）合併肺癌に対して肺切除術を受けた患者さんの入院および外来カルテから、患者基本情報（年齢、性別）、併存症（肺癌以外の病気の状況など）、肺がんの状態（がんや腫瘍の種類、病期、治療内容など）、手術内容（切除方法、合併症、併用療法など）、再発の状況（有無、発見日、再発部位、再発時治療）および予後（生存）情報などを調査します。

４．お問い合わせ先

　本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

　また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

＜照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先＞

研究責任者：神﨑　隆

大阪国際がんセンター　呼吸器外科
住所：〒５４１－８５６７　大阪市中央区大手前３－１－６９
電話：０６－６９４５－１１８１